



10月1日(日) 午後2時より 会場:れすとらんぱびよんさん(南相馬市役所西隣)で コーヒーとケーキを楽しみながら

「ビデオをみて 憲法九条を話し合う会」

○学習会がなかなか開けないでいますが、こんな会を計画してみました。お気軽にご参加ください

- ①まず、ビデオ「憲法9条は訴える」(コメディアン松元ヒロのコント、井上ひさしや澤地久枝など九条よびかけ人9名や全国九条の会事務局長小森陽一などのお話のビデオ。43分間)を見ます。
- ②最近の世相、教育、経済、国際政治、戦争と平和、憲法改正、憲法9条について、本や絵本、ニュースや新聞などをご覧になって、言いたいことをお互いに大いに話し合います。
- ③参加希望者は、9月25日(月)まで事務局のどなたかに電話で連絡してください。
- ④会費500円で、コーヒーとケーキを準備します。特別な講師はおりません。
- ⑤参加だけでもけっこうです。思っていることをなんでも話し合う楽しい会にしましょう!



「はらまち九条の会」は、主義・思想・宗教・政党をこえ、
一市民として憲法九条を守る、自主的な活動をめざします!

8月に30名以上の方が入会 会員が274名になりました!

○この夏、「私は保守派だけど憲法九条だけは守らないと」「あの人が会員なら私も入会しよう」と言って入会された方が増えています。「はらまち九条の会」はもちろん自主的な無党派の会ですが、数は力です。現憲法を守るためにさらに会員を増やし、知恵と工夫と力を出し合い活動していきましょう。

「はらまち九条の会」会員(敬称略・順不同) 2006年9月12日現在
会員総数274名(うち匿名希望30名)

青木謙二・青木容子・青田勝彦・青田恵子・朝倉悠三・朝倉美智子・阿部和子・阿部千代子・荒功雄・荒木貞夫・荒木千恵子・安部弘子・有間貢・石田賢二・石田ヨシ子・石井隆一・石橋勝子・伊藤まり・伊藤夏海・井上光正・井上由美・井上真貴・井上祐也・井戸川恒雄・井戸川由香里・猪又義光・遠藤清一・遠藤恵子・大石光孝・大内一俊・大内眞子・大浦祥見・大谷安亀・大河原鉄雄・大河原組子・大澤仁子・大須賀芳雄・太田恵民・太田久子・太田妙子・大槻千鶴子・大留隆雄・大和田須美子・大貫昭子・小川尚一・岡博子・岡田規代・岡田岳人・岡田光生・岡田博忠・岡田克子・岡本昇・奥平豊子・小元重語・奥山孝・小畑瓊子・加藤功其・加藤百代・加藤憲男・角島利雄・角島孝子・金井武・鎌田利美・金子利夫・金子正子・金澤孝子・嶋志田喜代子・川口豊子・菅野啓明・菅野幾代・菅野清二・菅野レイ子・菅野正勝・菊池良子・木村キヌ子・草野宣子・國枝明芳・國枝ちえ子・熊田幹雄・栗原三和・小泉祐功・桑折光美・桑折輝子・駒場正雄・小林恵美・小林トヨ子・古和田美美子・木幡愛子・木幡テイ・木幡トヨ子・牛来正光・齋藤育雄・齋藤清孝・齋藤久夫・齋藤和子・斎藤幸子・斎藤文子・斎藤良一・相良利信・作山和子・桜井勝延・佐々木昭夫・佐々木トモ子・佐々木孝・坂平弘・佐藤節子・佐藤貞子・佐藤妙子・佐藤恒雄・佐藤照夫・佐藤ヒロ子・佐藤邦雄・佐藤文彦・佐藤昌家・佐藤実・佐藤昌義・佐藤祐子・佐藤ゆみよ・佐藤みき・佐藤玲子・椎根幸子・志賀クニ子・志賀隆・志賀成子・志賀忠重・志賀禎子・志賀達次・志賀律子・柴田次男・島田俊之・下条真佐雄・島國義・新道譲二・新道良一・末永昇・鈴木丑太郎・鈴木啓子・鈴木顕三・鈴木陽子・鈴木千恵子・鈴木浪子・鈴木康孝・鈴木康晋・関琴枝・関場和子・関場信子・平貞信・高倉ミチ・高野良雄・高橋彰・高橋さき子・高橋晃一・高橋利子・高橋功直・高橋新一・高橋秀子・高橋美加子・高橋裕子・高山文子・但野一博・但野博貞・只野テル子・只野豊彦・只野喜代美・角田靖夫・寺田勝寛・中田正弘・永山洋子・新妻一信・西山雄司・にほんまつ千比呂・根本定子・畑島幸子・花井昭子・浜名紘隆・浜名建夫・浜名弘美・早坂吉彦・早坂節子・原美幸・馬場丈夫・番場敦子・番場正宏・番場恵子・番場依子・東清和・樋口利行・引地幹子・日向博・日向敦子・久田靖俊・平田慶肇・平田允子・平野敏彦・平野峯子・平間廣・平間志津子・廣瀬留美・深代ヨシ子・舟山ヒサ子・古内文吾・古山ヨシエ・増子吉次・星節子・松井稔・松井照子・松永章三・松永邦彦・松永正隆・松永純子・松永雄一・松永幸子・松本恵久・水井清光・三井健央・水口平八郎・迎田健生・武藤弘子・諸井秀一・屋代常道・屋代万起子・屋代つるよ・八牧幸江・八牧将彦・八牧美喜子・八牧通泰・山内茂樹・山口幸子・山口末好・山崎健一・山崎洋子・山崎孝雄・山崎幸治・山崎秀夫・山田キヨ子・山田禎春・山本富士夫・横井貞夫・横山雅子・若松丈太郎・若松蓉子・渡部一夫・渡部恵一・互理比呂志

※全くの同姓同名で別人の場合もあります。また他市町村の方でも入会されています。

○10月7日(土) 13:00~ 佐高信さたかまこと講演会:福島市公会堂
「憲法・教育基本法をめぐる特権と人権」(駐車場はないので、県庁などに)



九条の会・護憲シール 貼っていたけましたか？

■8月に製作し、会員に配布された「護憲シール」。この【鳩を抱く少女】の絵とデザインは、鹿島区の画家朝倉悠三さんです。絵は『旧約聖書』の創世記第8章の「ノアの箱舟」のお話で、洪水のあと、ノアが放った鳩がオリーブの枝をくわえて戻ってきたことから、「鳩とオリーブ」が平和の象徴となりました。これが世界に広まるのは1949年のパリ国際平和擁護会議のピカソのデザインの鳩のポスターからです。国連のマークも地球をオリーブの枝が包み、また日本タバコの「ピース」のパッケージデザインも「鳩とオリーブ」です。■お互いの出自を知っていて保守的な田舎で、こういう「護憲シール」を車や玄関やドアに貼ることは、大変勇気のいることです。でも、町でシールを貼った車2台によりややく出会い嬉しくなりました。憲法九条を守るために、ささやかなシールですが意思表示をいたしましょう！



事務局より

2006年会費の納入ありがとうございました

◆これまでの「はらまち九条の会」の活動は、①昨年12月7日(水)に発足集会、②2月18日(土)講演会「鈴木安蔵と日本国憲法」、③3月11日号の地域情報紙『L-NETエルネット』さんに9条を守ろうの意見広告、④映画『日本の青空』に製作協力券の販売、⑤「護憲シール」の製作・配布・頒布開始、⑥「九条ブログはらまち」の発行など、ささやかで歯がゆい「カタツムリの歩み」のような活動ですが、無理せずに力に応じたことをしていきたいと思ひます。「九条の会」は上からの命令で動く組織ではなく、その地域と力に応じた活動を積み重ねていくしかないと思ひます。提案をお待ちしております。また、みなさまからの会費は事務局で責任をもって大切に遣わしていただき、適時会計報告をいたします。

映画『日本の青空』の製作協力券をお知り合いの方にもすすめてください！

協力券は事務局に準備してあります。完成は来年2月予定ですが、原町でも小高でも上映会を開催します。会員向けの500円券は完売いたしましたので、今後はどなたも1枚1,000円でご購入ください。「はらまち九条の会」では現在160枚が販売済みですが、鈴木安蔵の地元の「小高九条の会」では、現在600枚の頒布が進んでいるそうです。たとえば虫のいいお話で恐縮ですが、まとまって5枚程度買い取っていただいて、お知り合いの方にもすすめて販売していただければ、さらに原町でも頒布が拡大します。事務局にご連絡をいただきたいと思ひます。

◆この「九条ブログはらまち」は、「文字が小さい」「ごちゃごちゃして読む気がしない」と大変不評です。たしかに編集が下手で、深く反省しています。改憲について何か考える話題やきっかけになればいいかな、憲法九条を守る活動を進める上で発言や言葉に責任を持つ、という意味でも発行し続けたいと思ひます。

8月18日付『朝日新聞・福島版』

それは南相馬市小高区出身の憲法学者、鈴木安蔵氏らの案が強い影響を与えた。同氏の日記を手がかりに憲法誕生ドラマを描く映画『日本の青空』の製作が進行中だ。「千円の鑑賞券を100枚買って製作委員になる」と呼びかけている「小高9条の会」の佐藤鶴雄代表(84)は「町内あけて大鑑賞会を」と、今からわくわくしているという。(友清裕昭)



日本国憲法は連合軍総司令部案を基にしてきたが、

◆「九条の会は年配者ばかりで・・・」たしかにそうかも知れませんが、若者が私たち年配者の活動のようすをじっと見えています。今の時代、五十代でも六十代でも年齢にこだわる必要はないし、若者の方が気持ちがおおらかな場合もありますし、本当にすばらしい若者もたくさんいます。若者へ信号を送り続けましょう！「今の若者はなどと 口はばたきことを申すまじ」(山本五十六)

◆隣の鹿島地区にも間もなく「九条の会」が発足するそうです。福島県内で57団体、全国で5,200団体の「九条の会」が活動していて、実は47年前の安保改定闘争の時以上だそうです。でも、日本のメディアの大新聞社やテレビ局はもう憲法改正を認めているのか、ほとんど「九条の会」の活動を無視し、数万人集会でも報道してくれません。政府の御用報道機関のようで、戦前に似た報道ぶりだという人もいます。

◆そういう状況の中で、たとえば8月18日の『朝日新聞・福島版』に原町支局長の友清裕昭氏が書かれた「左のコピー記事」は特異です。一般記事に出せないのだから、せめて一記者のコラムとして掲載して本音を語ってくれたのかな・・・。ちなみに友清氏は8月31日に退職されました。



①『憲法九条を世界遺産に』太田光・中沢新一著 集英社新書 693円

②『憲法「押しつけ」論の幻』小西豊治著 講談社現代新書 735円

①は、人を笑わせる漫才コンビの太田光だから、アホでふざけている人物と受け取るのはもちろん大間違いで、重い憲法問題を核心をついて指摘しています。現在ベストセラー、マスコミにも取りあげられています。

②は、現憲法の成立過程を克明に学問的に分析。「国民主権」や「象徴天皇は鈴木安蔵(小高出身)らの憲法研究会草案によるものでマッカーサー草案にはなかったことなど、「憲法押しつけ論」の空虚さや無知ぶりをつく。現憲法と明治初期の自由民権運動との関連や、鈴木安蔵の業績を知るための必読書です。

